



2010年1月4日
三菱レイヨン株式会社

各位

年頭挨拶

皆さん、明けましておめでとうございます。

振り返れば昨年は年初に覚悟していた以上に大変厳しい一年となりました。世界経済は前年比GDPのマイナス成長が続くというまさに世界大不況の年でしたが、当社グループはルーサイトとの連結経営をスタートさせ、また三菱ケミカルホールディングス（MCHC）との経営統合を決断しました。

そして厳しい環境のなかで、08年から継続してきた緊急対策の成果もあり、年後半の業績は徐々に回復の兆しをみせはじめました。これもひとえに三菱レイヨングループ全社員一人一人のたゆまぬ精進、努力、協力の賜物と、あらためて感謝の意を表したいと思えます。

さて今年2010年の経済成長率は、世界は3%、日本は1%程度を予測、期待する向きが多いようですが、日本経済については依然として円高、デフレ、株安、雇用等々不安材料にはことかかない状況が続くと覚悟しながら、我々個別企業は自ら諸リスクへの先行管理を徹底する必要があります。

私達三菱レイヨングループは、本年創業77周年を迎えます。そして「新生三菱レイヨングループ」のスタート、新たな歴史の第一章の年ともなりますが、やるべきことは明確であります。現在2018年の一兆円企業を実現する中長期計画を策定中ですが、この目標に向けてルーサイトとの統合シナジーの成果を上げ、MCHCとの経営統合を進める予定であります。またMMA関連、炭素繊維関連等いくつかの重要プロジェクトを推進中ですが、これらの計画についてもその実行、実績を問われる年となります。

その意味でも今年のキーワードは「信頼」であります。社会、ステークホルダー、株主、顧客、社員、ユニオン、経営そして新たなパートナーとの信頼関係を構築、強化することが大切ですが、そのためには互いに約束を守る、決めたことをやり遂げる実行力が問われます。実行、実践なくして信頼は成り立ちません。

我々にはこれまで厳しい状況を乗り越えてきた力と自信があります。我々には明るい将来への展望と計画があります。そして我々には大きな頼もしい仲間が加わります。私達は迷うことなく、怯むことなく果敢に、覚悟を持って前進したいと思えます。

今年の干支は庚寅（かのえとら）であり、これは「前年やり残した、あるいは手をつけ始めた事を継承して創造的に更新発展させて、紀律道義に則って伸ばすものを残し廃する事を慎重に選別して、より発展していく年である」ということを教えています。我々はあらためて正道を堅持し、敬み（つつしみ）助け合いながら前進することを誓い合いたいと思えます。

今年一年が実り多い年となることを願い、私の年頭の挨拶といたします。

取締役社長 鎌原 正直